



2026年4月21日

各位

会社名 abc株式会社
代表者名 代表取締役社長 松田 元
(コード: 8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://abc-chain.com/form/>

フィジカル AI ロボット事業部の新設に関するお知らせ

～ヒューマノイドロボット領域における研究開発及び事業化の本格的推進に向けて～

当社は、本日開催の取締役会にて、フィジカル AI ロボット事業の本格推進を目的として、新たに「フィジカル AI ロボット事業部」を新設することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業部新設の背景及び目的

当社は、2026年4月16日付「[フィジカル AI ロボット事業への参画に関するお知らせ](#)」にて公表のとおり、フィジカル AI ロボット事業へ参画し、ヒューマノイドロボット領域における研究開発及び事業化に向けた取り組みに関して、中国のフィジカル AI・ヒューマノイドロボット企業である Galbot Co., Ltd. (Galbot) をはじめとする海外先進企業との連携に加え、国内において販売支援、導入支援及び保守・運用支援を担う株式会社ビッグハンズとの協業を通じ、日本市場における導入及び事業化の検討を進めております。

今般、当社は当該事業を中長期的な成長分野の一つと位置付け、専任組織を設置することにより、事業推進体制の強化、意思決定の迅速化及び事業化に向けた取り組みの加速を図ることを目的として、「フィジカル AI 事業部」を新設することを決定いたしました。

2. 新設部門の概要

(1) 部門名称

フィジカル AI ロボット事業部

(2) 当該部門の統括責任者

事業部長 片田 朋希 (当社専務取締役)

(3) 主な役割 (収益シナリオを含む)

本事業部は、単体販売にとどまらない、「導入」「PoC」「販売・リース」「保守」「運用最適化」までを含めた一括した事業モデルによる継続的なサービス提供を事業戦略の前提としております。

特に、導入後の保守・運用を通じて継続的な収益機会の創出を図る点を特徴とし、単発収益に依存しないストック型ビジネスとしての確立を目指してまいります。

事業戦略として、単なる機体販売ではなく、以下の3段階での収益化を想定しております。

1. 当社が導入したフィジカル AI ロボット「Galbot G1」については、物流または医療分野の実証実験（PoC）評価を受けた後、そのまま導入先へ販売またはレンタル契約に転換する。

2. 上記の実績を基に、導入先における保守・メンテナンス契約、運用支援及びソフトウェア更新等のアフターフォローによる継続的なストック収益へ繋げていく。

3. 運用データ蓄積、導入実績から新規顧客への横展開を図り、国内外の大手物流企業・病院等との取引を生み出し、大型台数の導入取引へと繋げていく。

なお、本事業は、人的リソース、営業リソース、外部パートナーおよび必要な投資を段階的に投下し、売上および継続収益の創出ならびに企業価値向上に資する事業として昇華していきます。

3. 今後の見通し

本件による当期連結業績への影響は現時点では軽微と見込んでおりますが、中長期的には当社グループの収益基盤の拡充および企業価値向上に寄与するものと考えております。

本事業の開始時期については、2026年9月開始予定を目途に協議を進めておりますが、今後、本事業開始とあわせて、正式な事業体制等の確立など、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上